

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	西洋経済史	不可

問：次の事柄の中から1つ選択し1000～1200字程度で説明せよ

(1) 中世末期に起こった西ヨーロッパの社会的・経済的危機は、当時深刻な問題であったにも関わらず、経済史の研究者たちは、この時代の危機が近代への移行を引き起こす引き金になったと解釈している。このように考える研究者たちは、この時代のどのような変化や要因に着目して、それが中世から近代への移行を促す大きな力となったと考えているのか。この点について、それぞれの解釈の拠り所となっている経済学者の理論と関連付けながら説明せよ。

(2) イギリス産業革命をめぐる議論の中には、ヨーロッパ工業化の原点を求める観点から「なぜ産業革命が起こったのか」を突き止めようとする議論がある。この議論についてヨーロッパ内部の条件を重視する仮説と、外部条件の影響を重視する仮説とを関連付け、それぞれの仮説の問題点を指摘しながら説明せよ。

(3) 19世紀より進行したドイツの工業化は、19世紀後半以降になると製鉄業や化学産業など重工業部門で顕著な伸びを示すようになり、19世紀末以降にはイギリスを凌いでヨーロッパの工業国家の地位を占めるに至った。ただし上記の諸産業においては、イギリスで開発された技術などをドイツ側が利用する形で産業面での発展が進行したという側面がある。イギリスで先行する技術開発をドイツ側が利用できた諸背景について説明し、それがいかなる形でドイツの工業化に貢献したのかについて説明せよ。